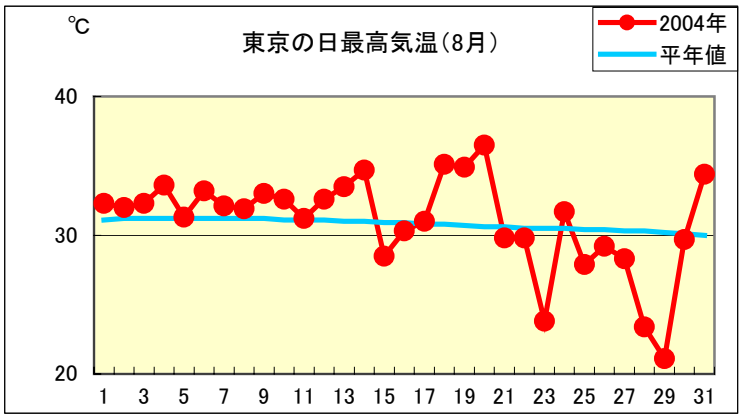
平成 16 年 8 月の解説（週間天気予報）

【8 月の天候状況】

8 月に日本へ接近した台風は 6 個と平年（3.4 個）に比べて多く、しかも 4 日に台風第 11 号が徳島県、20 日に第 15 号が青森県、30 日に第 16 号が鹿児島県にそれぞれ上陸して大荒れの天気となり、各地で大雨・強風・高潮などの災害が発生しました。

7 月からの全国的に気温の高い状況は、台風の影響を受けて旬平均気温が平年並となった西日本を除いて、上旬も広い範囲で継続しました。中旬になると北日本を中心に寒気の影響を受けるようになり、旬平均気温は北日本で平年より低くなりましたが、東日本と南西諸島では平年並で、西日本では平年より高くなりました。下旬は寒気の影響する範囲がさらに広がり、旬平均気温は北日本と東日本で平年より低くなりましたが、西日本で平年並、南西諸島で平年より高くなりました。

西日本の一部を除いて、月平均気温は平年並か平年より低くなった地方が多いですが、その原因は中旬以降北日本を中心に徐々に影響を強めた寒気にあります。東京での気温の経過を見ると、月の中頃までは毎日暑い夏でしたが、前線が南下して日中に 18℃台まで気温が低くなった 15 日を境に、北の寒気に伴う北東風と日本海を進む台風や低気圧に向かう南風の影響を交互に受けて日最高気温の変化が大きくなっています。



東京の日最高気温（2004 年 8 月）

東京（大手町）では 14 日を最後に、40 日間続いた日最高気温 30℃以上の連続真夏日（新記録）が途絶えた。その後は、日最高気温の振れ幅が大きくなり、25℃以上の夏日に達しない涼しい日も 3 日あった。

【8 月の検証結果】

「降水の有無」の適中率（3 日～7 日目の平均）は、全国平均で例年(注)（1992 年～2003 年の平均）より 2 ポイント低い 63%でした。北日本を除き、広い範囲で適中率が例年より低い所が多くなりました。台風が相次いで西日本へ接近・上陸し、四国地方の適中率は期間をとおして例年より 6 ポイント以上低くなっています。

最高気温の予報誤差（RMSE）は、昨年 8 月よりは全国的に小さくなりましたが、全国平均（2 日～7 日目の平均）で例年（1995 年～2003 年の平均）より 0.1℃大きい 2.5℃で、沖縄地方は例年より 0.3℃大きくなっています。

最低気温の予報誤差は、全国平均で例年より 0.3℃大きい 1.9℃でした。沖縄地方を除き、広い範囲で予報誤差が例年より大きい所が多く、特に関東甲信地方と北陸地方は期間をとおして例年より 0.3℃以上大きくなりました。最低気温の系統的な誤差（ME:平均誤差）は全国平均（2 日～7 日目の平均）で＋0.6℃となり、沖縄地方以外は全て高温バイアスになりました。

(注) 例年値は気象庁ＨＰ（評価）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

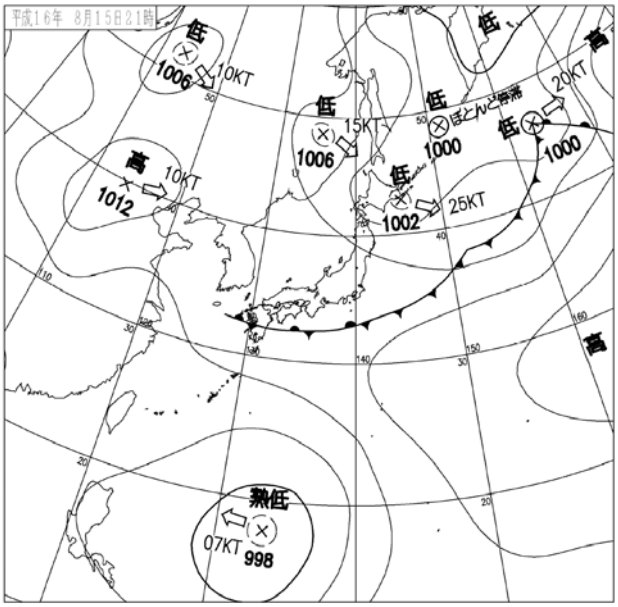
【8 月の週間天気予報から】――天候ベースの変化（8 月 15 日についての予報から）――

大きな空間スケールの大気循環場の動向によって天候状態が変わることを「天候ベースの変

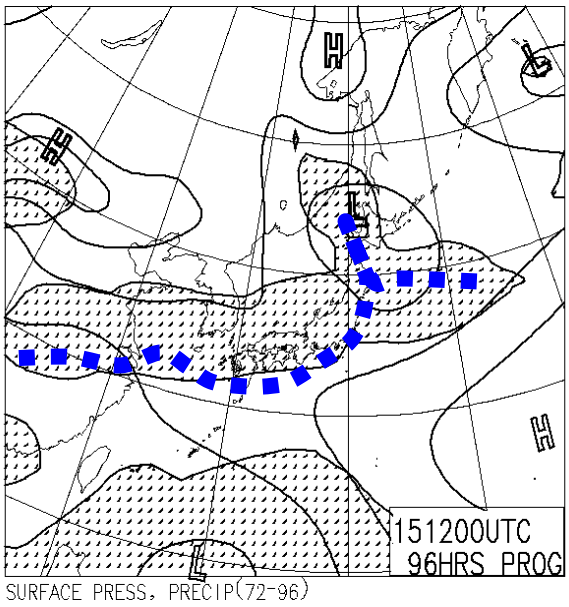
化」と呼びます。

今年の夏、東京（大手町）では7月6日以降、真夏日が連続しました。しかし、左下の図のように8月15日には太平洋高気圧の勢力が弱まり、前線が本州の南岸沖まで南下したのに伴って東京地方も午前中を中心に雨が降り、大手町では日中の最高気温が約21℃とかなり涼しくなりました。天候ベースの変化に伴い、14日まで続いた晴れ主体の天気が終わり、その後は曇りや雨の降る日が多くなりました。

8月9日発表の東京の週間天気予報では、天候ベースが変化し「15日前後には太平洋高気圧の勢力が弱まって関東地方はその縁辺部に入る」と予想しました。その段階では、14日～16日の3日間を「曇り」と予報しました。15日について雨を含んだ予報を発表したのは、12日以降でした。アンサンブル予報資料で得られた天候ベースの変化を週間予報の日々の予報へ的確に反映させるには、まだまだ困難な点がありますので、最新の予報をご利用ください。



8月15日21時の地上実況天気図



8月12日予測の地上気圧配置と降水域（陰影部）

青い破線は、予報官が判断した前線の位置

【10月の天候の特徴と週間天気予報の利用に際して】

10月の中旬頃から高気圧が東西に長く帯状に連なるようになると、空気の澄んだ秋晴れの日が続きます。下旬にかけて秋が深まると、山は紅葉シーズンになりますが、紅葉が一番美しくなる頃は標高の高い山岳が初冠雪を迎える時期と重なります。

紅葉狩りをかねて登山やハイキングに出かける人が多くなりますが、高い山では上空の寒気の影響を受けやすいため、天気の急変に注意が必要です。不安定な天気が予想される場合には天気概況の欄で上空の寒気の様子について記述していますので、山にお出かけの際などは念のため気象庁のホームページなどで確認するよう、お勧めします。

関東甲信地方での初冠雪の平年日（10月）

山岳	観測所	平年日	山岳	観測所	平年日
富士山	甲府	10月1日	白砂山	前橋	10月24日
乗鞍岳	松本	10月15日	塩見岳	飯田	10月25日
仙丈ヶ岳	飯田	10月21日	甲斐駒ヶ岳	甲府	10月26日
浅間山	軽井沢	10月21日	浅間山	前橋	10月28日
東方連山	長野	10月22日	男体山	宇都宮	10月29日
仙ノ倉山	前橋	10月23日	武尊山	前橋	10月31日
常念岳	松本	10月23日			